

## 第1類医薬品

医薬品を正しく購入するための  
説 明 文 書

## ロキソプロフェンT液



使用前には必ず添付文書をお読み下さい。

1	名 称	ロキソプロフェンT液
2	成分・分量	1本(10mL)中 ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1 mg(無水物として 60mg)
3	用法・用量	症状があらわれた時、次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。 成人(15歳以上) 1回1本(10mL) 1日2回まで *ただし、再度症状があらわれた場合には3回目を服用できます。服用間隔は 4時間以上おいてください。 15歳未満 服用しないこと
4	効能・効果	◆頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 ◆悪寒・発熱時の解熱
5	保健衛生上の危害を防止するために	<p>1. 次の人は服用しないでください</p> <p>(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (発疹・発赤、かゆみ等のアレルギー症状を起こしたことがある成分を、再度服用することによりアレルギー症状を引き起こし、重篤な副作用につながる可能性があります)</p> <p>(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。</p> <p>(3)15歳未満の小児。</p> <p>(4)医療機関で次の治療を受けている人。 胃・十二指腸潰瘍(消化性潰瘍を悪化させる可能性があります)、肝臓病(症状を悪化させる可能性があります)、腎臓病(症状を悪化させる可能性があります)、心臓病(心機能不全を悪化させる可能性があります)</p> <p>(5)医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常(血液の病気)を指摘されている人。</p> <p>(6)出産予定日12週以内の妊婦。</p> <p>2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬</p> <p>3. 服用前後は飲酒しないでください</p> <p>4. <u>長期連続して服用しないでください</u> (3~5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診療を受けてください)</p> <p>5. 次に該当する人はお申し出ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師又は歯科医師の治療を受けている人。</li> <li>・妊婦又は妊娠していると思われる人。</li> <li>・授乳中の人。(本品を服用する場合は授乳をさけてください)</li> <li>・高齢者。(一般に高齢者は、生理機能が低下していることがあるため、薬剤の作用が強くなる可能性があります)</li> <li>・薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。</li> <li>・次の診断を受けた人。 気管支ぜんそく(ぜんそく発作を誘発することがあります)、潰瘍性大腸炎(症状が悪化したとの報告があります)、クローン病(症状が悪化したとの報告があります)、全身性エリテマトーデス(腎障害等を悪化させたり、無菌性髄膜炎※になることがあります)、混合性結合組織病(無菌性髄膜炎※になることがあります) ※無菌性髄膜炎:発熱、頭痛、嘔吐等を呈しますが、髄液から細菌が検出されないものをいいます。 原因の大多数は、ウイルス感染によるものです。</li> <li>・次の病気にかかったことがある人。 胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気</li> </ul>
6	薬剤師が必要と判断する事項	

## 〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第1類医薬品は薬剤師が必要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 服用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には服用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。